

## 第3-1章 地域ですすめる健康づくりと生きがいづくり

---

### 第1節 健康増進対策

#### 現状と課題

本町の成人における健康づくりの重点課題は、高齢化に伴い増加する疾患、主に脳卒中・がん・肺炎等の予防である。脳卒中予防については、平成17年度から鳥取大学医学部と共に、住民の健康実態に関する調査研究に取り組み、事業を展開しているところである。がん予防については、これまで主に検診内容の充実を図ってきたが、受診率の増加がみられないため、今後は、未受診者ゼロに向けた取り組みを強めていく必要がある。肺炎予防については、他の自治体に先駆け、平成15年度から肺炎球菌ワクチン接種の公費助成制度の導入や、高齢者インフルエンザ予防接種の接種勧奨に力を入れてきたが、今後は高齢化に伴う身体機能の低下がもたらす誤嚥性肺炎の予防についても、積極的に対策を講じる必要がある。

また、うつ病患者と自殺者は全国的にも増加しており、本町においても取り組むべき課題である。

#### 基本方針

「からだ」と「こころ」両面の健康づくりについて、発症予防から機能回復までを総合的に支援する一連の体制づくりを目指す。そのため、保健・医療・福祉の連携を強化する。

また、食生活改善推進員、健康推進委員、しあわせの町づくりグループ等をはじめ、住民が組織する健康づくりグループや、職場との連携を図り、地域住民と共に家庭・地域・職場における、より良い食生活の実践や運動習慣の確立を目指す。

#### 施策の展開

##### 1 からだの健康づくり（生活習慣病予防、肺炎予防）

###### （1）脳卒中・心臓病の予防

家庭での血圧測定および減塩対策（うめぼし・味噌汁・漬物を控える等）の普及啓発

住民健診の実施（健診・二次検診）

要医療者への受診勧奨

栄養・運動・各種教室の開催

- ・ 家庭、地域、職場に根ざした活動の普及

治療中の方への支援（医療機関との連携による生活習慣改善への支援）

- ・ 動脈硬化予防外来での個別指導・集団指導の実施

- ・ 患者会の育成および活動支援

治療中断者対策

- ・ レセプト調査による治療中断者の把握と受診勧奨の実施

脳卒中発症者への対策

- ・ 医療機関との連携協力による発症者の実態把握
- ・ 再発予防および機能回復を図るための患者会の開催（ぼちぼち倶楽部等）

鳥取大学医学部との連携による、医学的根拠に基づく効果的な介入方法の検討

( 2 ) がん予防（肺・胃・大腸・肝臓・口腔・子宮・乳）

がん予防のための知識の普及啓発

がん検診の実施

がん検診未受診者対策（実態調査、医療機関との連携協力によるかかりつけ医からの受診勧奨等）

要精密検査者への受診勧奨

その他（喫煙対策による慢性閉塞性肺疾患の予防、子宮頸がん予防接種の実施）

( 3 ) 骨折予防（骨粗しょう症予防）：予防から早期発見、早期治療までの体制を整備する

強い骨をつくるための知識の普及啓発（食事・運動）

骨粗しょう症検診の実施

介護予防事業との連携による転倒予防教室の開催

( 4 ) むし歯・歯周病予防

強い歯をつくるための妊娠期・乳幼児期からのケアの推進（母子保健との連携）

住民健診での歯科検診と歯科指導の実施（鳥取大学医学部・江尾診療所との連携）

要治療者・要精密検査者への受診勧奨

( 5 ) 飲酒喫煙対策

禁煙・分煙対策（妊娠期からの対策、学校保健との連携、職域との連携）

適正飲酒の普及啓発（学校保健との連携、職域との連携）

( 6 ) 肺炎予防

機能低下による誤嚥性肺炎の予防

- ・ 住民健診での口腔・嚥下機能評価の実施、歯科検診と歯科指導の実施（一般高齢者施策）

- ・ 口腔機能・嚥下機能の向上を目指した個別指導・集団指導の実施（特定高齢者施策）

- ・ 介護家族を対象とした要介護者への口腔ケア指導の実施  
予防接種による肺炎の予防
- ・ 高齢者肺炎球菌予防接種およびインフルエンザ予防接種の接種勧奨

## 2 こころの健康づくり

### (1) 理解ある地域づくり

精神疾患、精神障害への理解を深めるための研修会の開催  
うつ、自殺予防のための相談窓口の普及啓発  
精神保健ボランティアの養成および活動支援

### (2) 本人と家族への支援

保健師の訪問による状況把握  
患者会（デイケア）、家族会の開催

### (3) 関係機関との連携

かかりつけ医および精神科医と連携した個別的支援  
産業保健との連携による、働き盛り世代への支援  
専門機関（保健所、精神保健センター等）と連携した自殺未遂者および自  
死遺族への支援

## 江府町住民健診資料

【年度別 種類、受診者数】

(単位:人)

区 分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
基本健診	756	748	716		
特定健診				372	344
肺がん検診(レントゲン)	824	824	808	691	680
肺がん検診(喀痰検査)	68	69	24	26	21
胃がん検診(バリウム)	375	404	332	293	295
胃がん検診(胃カメラ)	127	136	158	183	195
胃がん検診(血中ペプシノゲン検査)		398			261
大腸がん検診	627	674	645	577	583
肝炎ウイルス検査	71	76	59	32	6
子宮がん検診	341	306	307	292	311
乳がん検診	354	161	193	179	213
脳ドック	49	61	22	23	28
歯周疾患検診	9	18	6	11	6
口腔がん・粘膜疾患検診	235	609	512	495	526

【年度別 要医療者数、要精密検査者数】

(単位:人)

区 分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
基本健診	203	225	178		
特定健診				114	116
肺がん検診(レントゲン)	34	32	50	41	61
肺がん検診(喀痰検査)	1	0	0	0	0
胃がん検診(バリウム)	23	50	31	23	32
胃がん検診(胃カメラ)	16	11	12	11	9
胃がん検診(血中ペプシノゲン検査)		71			28
大腸がん検診	26	34	32	26	30
肝炎ウイルス検査	1	1	3	2	0
子宮がん検診	1	0	0	0	0
乳がん検診	27	22	14	16	8
脳ドック	8	12	6	0	2
歯周病疾患検診	8	18	6	10	6
口腔がん・粘膜疾患検診			378	240	247

基本健診と特定健診の違いは対象者の違い。

平成20年度に法律が改正され、40歳以上の全ての町民が対象となっていた基本健診から、40歳以上～74歳以下の国民健康保険加入者を対象とする特定健診へと移行した。

子ども予防接種(法定一類疾病・個別接種)

三種混合第1期(DPT)

年度	対象者数	接種者数	未接種者数	接種率(%)
H21	136	48	88	35.3
H20	126	50	76	39.7
H19	151	44	107	29.1
H18	179	58	121	32.4
H17	201	74	127	36.8

日本脳炎第1期

年度	対象者数	接種者数	未接種者数	接種率(%)
H21	423	8	415	1.9
H20	427	24	403	5.6
H19	409	0	409	0.0
H18	379	0	379	0.0
H17	359	7	352	1.9

参考:日本脳炎第3期(H17.7.29 国通知により廃止)

年度	対象者数	接種者数	未接種者数	接種率(%)
H17	115	2	113	1.7

子ども予防接種(法定一類疾病・個別接種)

MR(麻しん風しん混合ワクチン)

MR1期(1歳～2歳未満)

年度	対象者数	接種者数	未接種者数	接種率(%)
H21	14	10	4	71.4
H20	14	11	3	78.6
H19	20	5	15	25.0
H18	38	17	21	44.7

MR3期(中学1年に相当する年齢の者)

年度	対象者数	接種者数	未接種者数	接種率(%)
H21	32	32	0	100.0
H20	39	37	2	94.9

三種混合第2期(DT)

年度	対象者数	接種者数	未接種者数	接種率(%)
H21	54	20	34	37.0
H20	51	22	29	43.1
H19	64	30	34	46.9
H18	73	32	41	43.8
H17	125	19	106	15.2

日本脳炎第2期

年度	対象者数	接種者数	未接種者数	接種率(%)
H21	123	1	122	0.8
H20	146	3	143	2.1
H19	136	0	136	0.0
H18	120	0	120	0.0
H17	118	0	118	0.0

MR2期(保育園年長児に相当する年齢の者)

年度	対象者数	接種者数	未接種者数	接種率(%)
H21	24	24	0	100.0
H20	24	24	0	100.0
H19	27	25	2	92.6
H18	12	9	3	75.0

MR4期(高校3年生に相当する年齢の者)

年度	対象者数	接種者数	未接種者数	接種率(%)
H21	31	30	1	96.8
H20	41	41	0	100.0

子ども予防接種(法定一類接種・集団接種)

BCG 予防接種

年度	対象者数	接種者数	未接種者数	接種率(%)
H21	15	15	0	100.0
H20	12	12	0	100.0
H19	14	13	1	92.9
H18	11	11	0	100.0
H17	18	18	0	100.0

ポリオ第1回(急性灰白髄炎)

年度	対象者数	接種者数	未接種者数	接種率(%)
H21	26	6	20	23.1
H20	19	11	8	57.9
H19	15	6	9	40.0
H18	18	12	6	66.7
H17	23	21	2	91.3

ポリオ第2回(急性灰白髄炎)

年度	対象者数	接種者数	未接種者数	接種率(%)
H21	35	7	28	20.0
H20	28	9	19	32.1
H19	15	10	5	66.7
H18	33	14	19	42.4
H17	34	18	16	52.9

高齢者インフルエンザ(法定)

年度	対象者数	接種者数	未接種者数	接種率(%)
H21	1,379	1,100	279	79.8
H20	1,373	1,136	237	82.7
H19	1,395	1,149	246	82.4
H18	1,401	1,082	319	77.2
H17	1,398	1,075	323	76.9

高齢者肺炎球菌ワクチン接種(任意・単町事業)

年度	対象者数	接種者数	未接種者数	接種率(%)
累計	1,362	909	453	66.7
H22	208	39	169	18.8
H21	221	21	200	9.5
H20	262	41	221	15.6
H19	291	29	262	10.0
H18	287	23	264	8.0
H17	324	38	286	11.7
H15	1,362	718	644	52.7

## 第2節 母子保健対策(子どもと家族の健康づくり)

### 現状と課題

近年、少子高齢化の急速な進行、女性の社会進出の増大や家族機能の変化、地域社会の機能の縮小等の社会背景から、母子保健領域をとりまく環境は年々変化している。

本町においても、少子化により近所に同年齢の子どもや子育て家庭が少なくなり、子ども同士の交流や育児仲間が減少している。このような環境の変化の中、身体的、精神的、社会的及び経済的に育児不安を抱える家庭の増加に伴い、育児支援のニーズが増大している。育児不安は虐待につながる可能性が高く、妊娠期からの継続的な支援が求められる。

また、近年減少傾向ではあるが、比較的到现在も子どものう蝕罹患率が高いことに対するむし歯・歯周病予防をはじめ、健康増進対策の一連の対策として、妊娠期や、乳幼児期、学童期、思春期など早期に子どものころからの生活習慣病予防や、こころの健康づくりが必要である。

さらに、全国的に課題となっている発達障がいや子どもの様々な心の問題などから二次的に生じる学校や社会での不適応を防ぐために、それぞれの子に合った乳幼児期からの一貫した発達支援と保護者に対する子育て支援が必要である。

### 基本方針

「からだ」と「こころ」の健康づくりは、いずれも第1節の健康増進対策と関連しているが、母子保健領域では、その対象が発達途上の子どもとその保護者や家族であること、また、保育園、学校、教育委員会などの関係機関との連携など、成人期とは異なった支援方法を要することから、母子保健対策として別立てで取り組むこととする。

### 施策の展開

#### 1. からだの健康づくり(子どものころからの生活習慣病予防:健康増進対策との連携)

##### (1) 食育の推進

一人一人に合った離乳期と幼児期の食事の相談と指導

保育園、小中学校と連携した食育の推進

食への興味と食の自立を育むための各種講座の開催(こどもキッチンクラブなど)

##### (2) むし歯・歯周病予防

妊娠期からの予防啓発(妊婦歯科健康診査、母子感染に関する知識の普及啓発)

乳幼児期における予防(保育園、江尾診療所との連携)

- ・ 正しい知識の普及啓発と技術指導(子どもと保護者のそれぞれを対象とした個別と集団の健康教育、ブラッシング指導)
- ・ むし歯の早期発見と受診勧奨(定期的な歯科健診・フッ素塗布事業の実施)

- ・ 強い歯をつくるための予防対策(保育園児を対象としたフッ素洗口事業の実施)
- 学童・思春期における学校保健と連携した健康教育(小中学校、江尾診療所と連携したむし歯予防教室等の実施)

(3) 飲酒・禁煙対策

- 妊娠期からの本人、家族の飲酒・喫煙状況の把握と禁酒・禁煙支援
- 乳幼児突然死症候群(SIDS)等、受動喫煙の悪影響に関する知識の啓発
- 学校保健と連携した適正飲酒・禁煙対策の啓発

2. こころの健康づくり(子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減)

(1) 妊娠期からの産前産後うつ、子育ての孤立化、虐待の防止

- 身体、精神面だけでなく、社会的及び経済的要因など多角的な見知による、うつ傾向や孤立化する可能性の高い方の早期把握と個別支援(支援の始まりである妊娠届出時からの面接、乳児家庭全戸訪問事業、養育支援訪問事業の実施など)
- 広く集団全体に働きかける支援(町子育て支援センターと連携した子育ての仲間づくり)
- 外国人お母さんとその家庭に対する児の乳幼児期から就労期まで一貫した相談支援体制づくり(教育領域との連携)

(2) 乳幼児期からの発達支援とシステムづくり(保育園、学校、教育委員会との連携)

- 発達障がいや「行動が気になる」など配慮を要する子どもの特性に関する早期発見と早期支援の体制づくり(気づきの場としての乳幼児健診の充実)
- 保護者の「子育て不安」や「育てにくさ」に対する相談支援(子育て支援の場としての乳幼児健診の充実)
- 一人一人の子どもの特性に合わせた具体的な手立ての検討(事後相談、保護者と関係機関との支援会議など)
- 乳幼児期から就労期まで一貫した支援のためのシステムづくり
- 教育・福祉関係機関等と連携した学校適応、社会適応に向けての個別支援、家族支援
- 発達障がい等に関する正しい理解の普及啓発

(3) 思春期の健康づくり(学校保健と連携した施策展開)

- 思春期の健康課題に関する実態把握
- 思春期保健教育(助産師による健康教育など)の実施
- ・いのちを大切にする教育
- ・自尊感情や相手を思いやるこころを育てる教育
- ・正確な知識を伝える教育



## 第3節 地域づくり対策

### 現状と課題

元気でいきいきとした地域づくりを進めるためには、その地域で暮らす人々が生きがいをもち健康に生活することが重要である。

しかし、少子高齢化や人口減少が進む中、生きがいや生活を楽しむといった様々な「自己実現」を個人だけの努力で行うことは困難な面もあり、身近な地域で支える仕組みをつくり、地域住民が相互に扶助することが不可欠である。

よって、個人の生きがいや健康づくりを支援する自主的なグループづくりを推進し、各地域のニーズに合った活動を行うことが必要であると考えます。

### 基本方針

#### 1 栄養改善事業

食生活改善推進員の養成と育成を行う。また江府町食生活改善推進協議会の活動支援により町全体や地域で食生活改善活動を展開する。

#### 2 地域運動推進事業

運動グループの活動支援と新規運動グループの育成により、運動の場を個人に提供できる環境を整え、運動継続による健康づくりを推進する。(地域型・センター型)

#### 3 高齢者生きがい対策事業

生きがいづくりや、社会参加の場として「にこにこいどばた支援事業」による補助金事業を行い、地域のお年寄りが気軽に寄り合える場の提供に努め、ひきこもり高齢者をなくす。

#### 4 しあわせのまちづくり推進事業

地域の支え合いや活性化を目的に「しあわせのまちづくり事業」による補助金事業を行い、地域住民の望む「地域の将来像」を実現するため、地域に合った活動を自主的に行うグループの立ち上げや支援を行い、いきいきと楽しい地域づくりを推進する。

### 施策の展開

#### 1 食生活改善対策

食生活改善推進員養成講座の開催

食生活改善推進員学習会の開催による推進員の育成

食生活改善伝達講習会の開催

江府町食生活改善推進協議会の活動支援

#### 2 地域運動推進事業

地域型:いきいき運動教室の開催、運動グループの立ち上げ、活動支援

センター型:ウエルビクスクラブの活動支援

・はつらつ運動教室の開催、はつらつ運動クラブ活動支援

- ・太極拳クラブ活動支援
- リーダー育成:地域運動リーダー養成講座の開催

3 高齢者生きがい対策事業  
ニコニコいどばた支援事業(補助金)

4 しあわせのまちづくり推進事業  
しあわせのまちづくり事業(補助金)

しあわせのまちづくり事業実施状況

年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
団体数	15	15	13	10
実施地区	池ノ内、尾之上原、宮市原、宮市、下蚊屋、新道、荒田、武庫、袋原、洲河崎、久連、本町二丁目、本町四丁目、本町五丁目、大満	池ノ内、尾之上原、宮市原、宮市、美用、新道、荒田、武庫、袋原、吉原、洲河崎、本町二丁目、本町五丁目、大満、小江尾	池ノ内、宮市、新道、荒田、武庫、洲河崎、本町二丁目、本町四丁目、柿原、大満、小江尾、久連、下蚊屋	池ノ内、宮市、新道、武庫、洲河崎、本町二丁目、本町四丁目、柿原、大満、下蚊屋